



# 日本を護る会 レポート

日本の伝統・精神の次世代への継承

平成30年9月

第 32 号

## 理事長挨拶：

異常な暑さが続いた今年の夏も終わり、快適な秋の季節となりましたが、会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと拝察致します。「日本を護る会」も皆様の御支援を受けて順調に活動を続けておりますので、ここに平成30年度最初のレポートをお届けします。

①7月12日(木)には第29回研修会として国会議事堂見学を行い、国政の議論が行われる現場をつぶさに見学した後に参議院議員会館で昼食会を行い、昨年6月の定例会で素晴らしいお話を下さった中山恭子議員が御多忙な中に時間を割いてお越し下さり、拉致問題解決等国政の最新情勢についてお話をして下さいました。また、この機会を利用して昭和20年8月15日の昭和天皇の終戦御詔勅と最後の御前会議についての迫水久常内閣書記官長の解説の貴重な録音を参加者一同で拝聴しました。

②8月3日(金)には第30回研修会として、以前から要望がありました防衛省の市谷台ツアー、昼食会及び防衛講話を行い、防衛省敷地内にあります記念館内で市谷台の歴史、東京裁判の様子等をビデオで説明を受け、天皇陛下がお休みになられる「便殿の間」、三島由紀夫の残した刀の傷及び帝国陸軍の各種展示物等を見た後に本館18階展望レストランで3人の航空自衛官を招いての昼食会を行って歓談をしました。そして、昨年11月迄那覇基地司令を勤めていた川波清明空将補による「沖縄方面における空の護り」について実体験による貴重なお話を伺い、新聞、TV等では知る事ができない最近の特に厳しい国防最前線の現実についての認識を深めました。

③9月1日(土)には第10回定時総会を行いました。総会につきましては既に別途お知らせしたとおりですが、その後の講演会では駐日エルサルバドル共和国全権大使のマルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス閣下による「外から見た日本ー若い世代の期待したい事」と題する講演を戴き、日頃聴く事のできない貴重なお話を伺いました。その後の講師を囲んでの懇親会は昨年に続いての鈴木 菜穂子さんのフルート演奏も加わって大変和やかに行われました。この3ヶ月の活動は以上のとおりですが、当会はその設立趣旨に則り、さらに活動を充実させて行きたく考えますので、御意見、御希望等がありましたら是非お知らせ戴きたくお願い申し上げます。

## 第29回研修会

国会議事堂見学会 ～中山恭子議員との懇談～

平成30年7月12日(木) 10:00～

今回は国会議事堂の見学でした。「参議院見学ガイド」によればこの議事堂は大正9年1月に地鎮祭が行われ17年の歳月と延254万人の工事従事者により昭和11年11月に完成したとあります。建物面積約13,400㎡の耐震・耐火建築で出来るだけ国産の材料を使ったそうです。その壮麗な外

見は私たちが子供の頃から目にして来たものですが内側はどうなのでしょう。7月12日（木）朝10時に議事堂の待合室に集合した参加者は22人早速見学を開始いたしました。当日は連日の猛暑続きの真最中、熱中症の心配もせざるを得ない暑い日でした。国会会期が6月から35日間延長され、間が悪いと議場が使用中で見学できない恐れがありましたが幸い当日は特に本会議も各種委員会もなく見学は滞りなく行われたのでした。

#### ・議事堂（参議院）の見学

議場は相当に大きく元々貴族院議院として作られた議席の数は460だそうです。現在参議院の定員は242人ですから大分余裕があるわけですね。見学者席は議場の右側2階立ち見席ですが目の



前の一段下には報道記者席が並んでいます。議場の中央、議長席奥には開会式に臨席される天皇陛下のお席があります。議長席前にはフェンスで囲まれた速記者席があり出入口がありません。緊急時（小用）に速記者はどうするのだろうと聊か気になるところですがご心配無外からは見えない脱出抗があるそうです。さてその後私達は天皇陛下の御休所を見、御休所前広場を見ての立派さ

に驚きます。ただ立派と言ってもいわゆる西洋式の宝飾、彫像、絵画の絢爛たる豪華さではなく造作は檜、本漆という工芸の粋を極めたもので控えめな日本の美の極みとえるでしょう。中央塔の真下には中央広場があります。2階から6階までの吹き抜けとなっており窓と天井にはステンドグラス、床は大理石のモザイク模様となっています。そしてこの広間の3隅には議会政治に功労あった伊藤博文、大隈重信と板垣退助の立像があり、第4隅は空席で台座のみがあります。4人目を誰にするか決められなかったとも、政治は未完でありその象徴であるとも言われているそうですが後者の方が何となく気が利いているという感じがしますね。これで議事堂見学は終わりで衆議院は行かないのかとの疑問には「衆参は全く別会社」だからそちらはまた別にお申し込みをどうぞとの事でした。



参議院議場



中央広間

#### ・記念写真の撮影

この後私たちは前庭をぞろぞろと歩いて（右下写真一暑かったあ）正面で記念撮影を取りました。この時通ったのは遊歩道でその両側に「都道府県の木」が植えられています。昭和45年に議会開設80周年を記念して各都道府県が贈ったものだそうです。当日の第一行程は以上で終了しました。



板垣退助

大隈重信

伊藤博文

台座

#### ・中山恭子議員のご講話と終戦詔勅録音の拝聴

次に、私達が向かったのは議事堂横の参議院議員会館です、会議室で参議院議員中山恭子議員のお話を聞きました。昼食を頂きながらいつもながらのゆったりとしたお話振りで、しかし毅然として北朝鮮拉致問題解決にあたる決意を拝聴致しました。お忙しい中お話は1時間にも及んだのではないのでしょうか。中山先生有難うございました。その後当会理事長の入手されたCDで先帝陛下の終戦の詔勅、鈴木貫太郎首相（当時）の終戦談話などを聞いて肅然とした気持ちで当日のスケジュールを終了致しました。午後2時、長い暑〜い、しかし有意義な1日でした。





以下参加者からの感想です。有難うございました。

卒田 理愛さん（非会員）から

中学生の時に一回見学の国会議事堂見学をもう一度と、ここ数年、思っていたところ、ちょうど案内がありましたので、初参加させていただきました。議員会館での昼食の時間には、中山恭子議員から拉致問題の話、その後は、終戦の詔などのCDを拝聴して、大変ゆったりとした有意義な体験をさせて戴きました。 本当に有難い内容でした。深く感謝申し上げます。

0—————0—————0—————0

沼田金之 個人事業主 横浜市ボート協会理事（非会員）から

大橋理事長からお誘い頂き、小学校の社会科見学、大学時代朝日新聞編集局でバイトしていて国会記者クラブに詰めていた時以来の国会議事堂に出向いた。今回は参議院。また懐かしい場所に戻ってきた感じもしたが、社会人としてその歴史、建築材料等の観点からも新たに考察しながら非常に新鮮に見学できた。 昼食時は中山恭子議員が挨拶に来られ、北朝鮮拉致問題につき言及。真実とマスコミ報道の違いもよくわかった。米国頼みではだめだ。日本の問題としてしっかり解決しなければとの意を強くした。有意義な一日だった。大橋理事長、お世話役の皆様、ありがとうございます。

### 第30回研修会

市ヶ谷ツアー・昼食会・防衛講話

平成30年9月10日（木） 9:10～

0910正門に集合・受付を行い 市ヶ谷ツアーを開始した。深い地下鉄にあるような長いエスカレーターで坂を上がり、さらに本日最大の難所と説明された長い坂を、東西750m程ある市ヶ谷台の半ばまで上ると

観閲広場にでる。下で見るよりかなり高く標高34mである。ここは幕末に官軍が大砲の照準を2kmほど



先の江戸城に据え、勝と西郷の開城交渉に際し圧力を加えていた砲兵陣地であっただけのことはあるのまま市ヶ谷記念館に向かった。市ヶ谷台の西の端に移設されているものの三島由紀夫が演説した車寄せ上のバルコニーがその姿を留めている。ビデオで市ヶ谷のレクチャーを受けた後、大本営地下施設の図面など旧軍にまつわる展示物を観覧した。床には板を元通りに並べた際の移設時のテープの跡も残っていた。極東軍事裁判が行われた講堂の位置は当時とは逆向きだったそうである。組木細工の玉座の位置からは入り口が低く見えるように視覚的な工夫が施してあるには玉座は解体され、照明が増加されるなど手を加えられた。玉座への階段は大元帥陛下が登り易いように踏板が、手で撫でると僅かに傾斜が付けられているのが分かる。



2階に上がり、大元帥陛下がお休みになられた「便殿の間」であつた元陸自東部総監室跡を見学した。この部屋のドア

は中から出迎える ことがないので外開きになっており、「便殿の間」との間は引き戸になっている。空調が無かった当時、大元帥陛下が暑くないように壁が地下からの冷氣通すダクトになっており、送風口が開いている。ドアには三島事件時の

刀傷が残っている。隣の部屋には東部方面総監時代の 一号館の模型が展示してあり、壁には昭和 16 年 7 月に行われた関東軍特殊演習(関特演)の際の写真が掛かっている。その後、厚生棟に移動した。嘗てよりは規模が縮小されたものの他の駐屯地・基地の売店よりもずっと大きく充実していてショッピングモールのような。再び観閲広場に出ると302保安中隊が広場一杯に横隊で観閲の練習をしていた。そこを抜けて暫く歩き市ヶ谷台の東端の殉職隊員慰霊碑に移動した。綺麗に清掃された碑は隊員がデザインしたものだそうで、碑に収められた名簿には現在までの殉職隊員の名前が刻まれているとのことである。市ヶ谷台ツアーは正門に戻り終了したが、我々は後で市ヶ谷記念館に戻り、極東軍事裁判の法廷を睨むスディルマン将軍の碑を見学した。その後、A棟18階の眺望の素晴らしいレストランで次の予定の講師及び広報室長並びに広報室担当者を交えて研修者との 昼食会が催された。昼食会の後は、航空幕僚監部運用支援・情報部長の川波空将補による講話であつた。航空幕僚監部運用支援・情報部長の川波空将補による講話



であつた。講話の内容は「沖縄方面の空の守り」であり、講師が最近まで沖縄の第9航空団司令として勤務されたことも話に深みを増していた。研修者等に対する一般的な説明として我が国周辺の空の状況や航空 防衛力の意義、空自の任務、編成組織、活動について現場で勤務されてきた経験をもとに話されるとともに、日米共同や最近のトピックスに関して興味深く説明していただいた。講話を聴く者にとっては、

沖縄の 現場の実情を分かり易く丁寧な解説され、 また講師の人間味あふれる 話し方によりとても満足のいく講話内容であった。

### ★参★加★者★感★想★



今回の防衛省の見学に参加させて頂いて、東京裁判のことなど勉強はしていましたが、実際どうだったのかなど見ることができて、とても良かったです。また、自衛隊の方から直接宮古海峡の現状や、沖縄の防衛の最前線の状況、米軍との合同演習の事など、具体的な日本の防衛の実情を聞かせて頂き、国の防衛に対する自分の意識がとても高まりました。今回は参加させて頂き本当にありがとうございました。(伊藤 雅真さん)

0 ————— 0 ————— 0 ————— 0

このたびは 第30回研修会「市ヶ谷台ツアー」の企画とご案内誠にありがとうございました。大変貴重な経験となりました。私にとっては防衛省庁舎の見学は勿論、市ヶ谷記念館も初めての訪問でした。再度 個人でまた行きたいと思っております。市ヶ谷記念館は極東国際軍事裁判(いわゆる東京裁判)の法廷となった大講堂や三島由紀夫氏が残したとされる刀傷がそのままのドアや割腹自決された総監室等があり、また大講堂内は資料室にもなっており軍服や軍刀、写真や手紙等、歴史の重みを充分に感じさせる記念館でした。その後午前の部を終え「護る会特別コース」では昼食会、川波清明空将補の講話へと続き、盛りだくさんの内容でした。川波清明空将補からは国防の最前線に立つ勇ましい武人の姿を感じました。大橋理事長始め望月様、護る会の牽引者達も志は一緒であると感じております。現代は外交においても国内でも解決すべき問題が山積状態、まさに国難の時と言えます。今こそ国民が心を合わせ国を思い国難を乗り越えていく必要があります。それが先人達が命を賭けて守り抜いて下さったご恩に報いることだと思っております。ネット社会の恩恵でネット上で多くの資料に出会うことは出来ますが、実物だからこそ感じられる事があります。今回はそのことをより実感できた見学会でした。また、参加者の皆様とも有意義な交流が出来、大変勉強になりました。このたびは素晴らしい企画、誠にありがとうございました。(高坂 道代さん)



## 第10回定時総会

講演「外から見た日本ー若い世代の人達に期待する事」

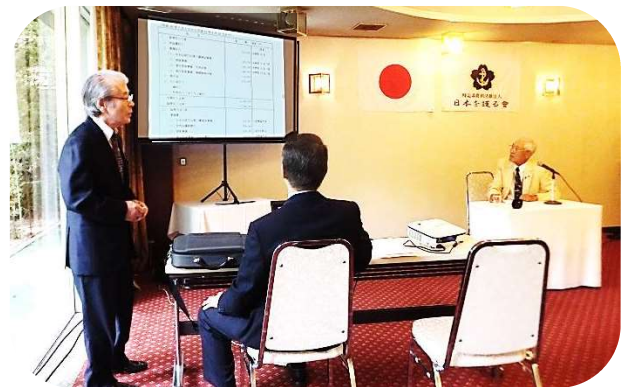
講師：マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス

駐日エルサルバドル共和国大使

### 第10回定時総会

9月1日に第10回定時総会が水交会にて行われました。

司会の萱場浩之氏からの開会挨拶から始まり、大橋武郎理事長が議長に選任され、議事が進行しました。第一号議案「平成29年度事業報告」、第二号議案「平成29年度収支決算報告」、第三号議案「平成30年度事業計画（案）」、第四号議案「平成30年度収支予算（案）」、第五号議案「会名称及びロゴ変更の件」、第六号議案「定款変更の件」、第七号議案「理事の任期満了に伴う改選の件」とそれぞれ担当役員から説明があり、第五号議案の中のロゴ変更の件を除き、すべての決議事項は承認をされました。ロゴ変更の件に関しては提案に至るまでの過程が不十分であったと理事会で判断をし、今回の決議事項から除外をしました。時間をかけて次回の総会までに準備をすることとしました。



総会講演会演題：「外から見た日本-若い世代の人たちに期待すること」

総会後には恒例の講演会が開かれ、昨年の駐日サン・マリノ共和国大使マンリオ・カデロ閣下の講演に続き、海外からの駐在大使のお話としてエルサルバドル大使にお願いをしました。

シスネロス大使は日本滞在35年になり心から日本を愛しておられる大の親日家で、大変流ちょうな日本語で講演をされて聴衆を魅了しました。エルサルバドルは1821年にスペインから独立をした、アメリカ大陸に連結する国の中では最小国で日本の九州の約半分程度の大きさしかありません。国民は大変親日的であるとのこと。大使からはこの国の歴史的背景、政治、文化について熱心に紹介がありました。普段あまり馴染みのないエルサルバドル共和国について学ぶ貴重な講演となりました。また大使はお話の中で、日本の若者と海外で接したときに感ずることに、彼らは日本の国自体に対する知識が希薄であることに驚くとのこと。海外に出る日本人は国を代表しているという自覚が大切である、という大変重要なコメントがありました。



## 懇親会

講演会終了後には同じ場所にて大使を交えて懇親会があり、本年6月の定例会にて「朝鮮半島は日本安全保障の要」と題してご講演頂いた、元韓国空軍大佐 崔 三然氏による乾杯の音頭で賑やかに行われました。

昨年に引き続き、鈴木菜穂子さんによるフルート演奏が雰囲気を盛り上げてくれました。

## 事務局からのお知らせ

9月1日の総会は本会が新体制になってから10回を数える節目の総会となりました。

本年度の大きな目標は「認定 NPO 法人」の資格を取得することです。この制度は寄付を促すことにより、その活動を支援するために税制上の優遇措置として設けられた制度です。企業などから寄付を得られやすくなります。結果、組織運営のために事務所を定めることも、お手伝いを頂ける方への報酬も考えられることとなります。準備を整えば年内には都庁へ申請を目指すつもりです。認可が得られるとしてもかなりの時間がかかるものと思われます。いずれにしても今後とも皆様のご協力なくしては本活動を続けていくのは困難です。

現在は事務局をサポートしていただく方が足りません。どんなことでもお手伝いいただける方があれば是非お知らせ頂きたく何卒よろしくお願いいたします。

また事務局では皆様の忌憚のないご意見、ご要望など歓迎をしていますので下記のメールアドレスにお寄せください。

### 今後の予定

10月11日(木) 第77回定例会「我が国のエネルギー政策と原子力発電」

講師: 日本エネルギー経済研究所 参与 十市勉氏

11月7日(水) 第78回定例会「日本を守る 自然を守る」(仮題)

講師: ジャーナリスト、女優、予備自衛官 葛城奈海氏

## 新年度に於ける年会費お振り込みのお願い

新年度につき、下記の通り会員の皆様の年会費お振込みを年末までにお願いします。

機関誌をメールで受け取る会員 2,000円＋一口1,000円以上の寄付(上限無し)。

機関誌を送付希望の会員 2,000円＋送付料2,000円＋一口1,000円以上の寄付(上限無し)。

### 新会員のお誘い

当会では、お友達など会の趣旨に賛同していただける会員を広く募集致しております。

#### 年会費お振り込み先

① ゆうちょ銀行

(ゆうちょ銀行からの振り込みの場合) 記号10380 番号 92589171

(ゆうちょ銀行以外からの振り込みの場合) 店番 038 普通預金 口座番号 9258917

名義 特定非営利活動法人 日本を護る会・日本ネイビークラブ

② 三井住友銀行

三井住友銀行 店番号 516 普通預金 口座番号 74410697

名義 特定非営利活動法人 日本を護る会・日本ネイビークラブ

日本を護る会・レポート 第32号 平成30年9月発行

編集発行: 特定非営利活動法人 日本を護る会

ホームページ: <http://awake-japan.sakura.ne.jp>

E-mail: [awake-japan@googlegroups.com](mailto:awake-japan@googlegroups.com)